

国際医療支援センター

■ スタッフ


センター長 成島三長  
 副センター長 豊田秀実  
 委員 櫻井洋至、米川貴博、  
 福永稚子、Said Ahmad Shah  
 他3名  
 アドバイザー 堀浩樹 笠井裕一

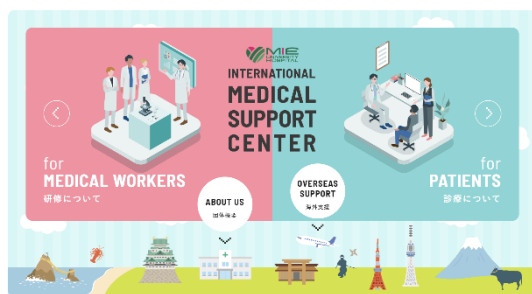
■ 部門の特色

国際医療支援センターでは、2020年度において、ホームページの改修、院内の多言語化、全国国立大学附属病院・病院長会議の国際化ワーキングへの参加などを行いました。

■ 活動実績

1. 協定校からの海外実習生受入れ  
 コロナウィルスの影響で、できませんでした。
2. 国際的な医療講演会の開催  
 コロナウィルスの影響であり中止している。
3. 国立大学病院長会議委員会国際化協議会担当者会議の参加  
 上記会議に2021年2月16日にオンラインで伊佐地病院長・国際医療支援センター長（成島）が、参加した。三重大学医学部からは、人材、技術、システムのアウトバウンドに関わる提言について（他の先進国における人材・技術の海外展開戦略に関する報告）を行った。ODAなどのデータから海外への健康医療分野において、非ODA国の中国が最も資金を投入しており、以下アメリカ、ドイツ、イギリスと続き、5位に日本が入っていた。また covid19 に関連して様々なプロジェクトが進行中であることを将来像実現化年次報告 2020/行動計画 2021 に報告した。
4. 国際医療支援センターホームページ改修

 三重大学医学部附属病院 国際医療支援センター  
 International Medical Support Center / 国際医療支援センター  
 診療について 研修について 海外支援 団体概要 アクセス



  三重大学医学部附属病院 国際医療支援センター  
 〒242-0292 三重県桑名市 桑名 1-1-1 豊和  
 TEL: 059-221-4521 FAX: 059-221-4522

初代センター長の笠井先生によるホームペー

ジを改修し、診療についてと研修についての二本柱についてわかりやすいホームページに改修しました。診療については日本語に加えて、約3000人/年ずつ増加傾向にある外国人住民の方が安心して三重県内の病院へ受診できる体制を構築するため、英語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語の5言語での対応としました。これは県内の他言語話者住民の割合に合わせて言語を選択しました。

5. 病院内掲示物の多言語化

ホームページの改修と併せて、各階のフロア表記について院内掲示の他言語化を進めました。日本語に加えて英語・ポルトガル語・スペイン語による表記を加えました。また入院受診案内のポルトガル語版とスペイン語版を刷新し、ホームページからもダウンロードできるようにしました。




6. ポルトガル語とスペイン語による入院案内動画の作成

医療通訳士のワキモトさんマリアさんのご協力のもと、わかりやすい初診のかかり方に関する動画を作成し大学病院 youtube チャンネルおよびホームページで公開しました。



7. 留学生の臨床研修許可申請更新

形成外科にて研修しているザンビア大学からの留学生の臨床研修許可の更新申請を行い、無事更新許可を得ました。2年間の許可を大学院生であることを理由にさらに2年延長することができました。

 <https://www.hosp.mie-u.ac.jp/inter-med-center/>